

ID <sup>注1)</sup>	181206	公開レベル <sup>注1)</sup>	C	保管形式 <sup>注1)</sup>		保管場所 <sup>注1)</sup>		前回ID	171206
-------------------	--------	----------------------	---	---------------------	--	---------------------	--	------	--------

報告書名称 /調査名称	平成30年度 白神山地周辺地域（秋田県側）における小型囲いわなによるニホンジカの捕獲事業の検証							発行年月/報告年月	
								2019年	3月
								資料形式 <sup>注2)</sup>	

調査機関	東北森林管理局 藤里森林生態系保全センター	委託機関	
------	-----------------------	------	--

調査開始年	2016年	10月	調査期間	2018年	4月	～	2018年	12月
-------	-------	-----	------	-------	----	---	-------	-----

調査頻度 <sup>注2)</sup>	毎年	—	調査時期 <sup>注2)</sup>	春	—	秋
---------------------	----	---	---------------------	---	---	---

モニタリング計画	2017年3月 改訂	区分 <sup>注2)</sup>	ⅡB	大区分 <sup>注2)</sup>	2	小区分 <sup>注2)</sup>	(3)
----------	------------	-------------------	----	--------------------	---	--------------------	-----

調査箇所・範囲 <sup>注3)</sup>	調査手法
------------------------	------

核心地域
  緩衝地域
  周辺地域  
 GPS等の位置データあり

※周辺地域における調査箇所は備考欄に示す。

- 目的  
近年白神山地周辺で相次いで目撃・撮影されているニホンジカについて、越冬する可能性が高い海岸寄りの低標高地に、獣サイズ判別センサー（写真メール通報機能付き）を搭載した小型囲いわなを1基設置して捕獲を試みた（写真1）。
- 設置箇所：八峰町 八森山国有林 159は林小班内（図1）  
（平成30年度 中・大型哺乳類調査業務のセンサーカメラ設置箇所5の直近）
- わな：四国森林管理局で開発された『シカ捕獲用小型囲いわな』  
高さ130cm×幅75cm×奥行180cm、重量58kg
- 獣サイズ判別センサー：アニマルセンサー2（櫛アイエスイー）
- わな入口に向けた観察用センサーカメラ：Bushnell トロフィーカメラ1台（動画撮影）
- 誘引剤：ユクル（日鐵住金建材株式会社）、ハイキューブ・チモシー（有ワールド牧場）
- 稼働期間：平成30年4月25日～5月31日、9月25日～12月21日  
（土日祝日はゲートを固定）

結果概要（スペースに収まるように入力してください）

4月20日、小型囲いわな（以下、わな）にアニマルセンサー2を取り付け、わなの内外に誘引剤としてユクル・ハイキューブ・チモシーを撒いて、電源は入れずにゲートを開けたまま固定した。春期の捕獲事業は4月25日より開始し、5月31日まで毎週明けにアニマルセンサーの電源を入れて週末に電源を落とす作業を継続した。秋期は9月25日より稼働させたが、わなの周囲にクズ主体の草本類が繁茂していたため、誘引剤としてハイキューブ2個のみを使用した（写真1）。12月10日にわな周辺で今期初の積雪が見られたものの数日で溶け、新鮮な草本類が地上に出ている状態だったため、12月21日に秋期捕獲事業を終了するまで新たに誘引剤を追加することは無かった。

わなの稼働日数（＝アニマルセンサーの電源を入れた日数）は4月：3日、5月：10日、9月：0日、10月：8日、11月：16日、12月：10日、以上合計47日であった。毎週明けにわな周辺のセンサーカメラ3～5（図1）に写りこんだ動物を現地で確認し、カモシカが撮影されていた場合は錯誤捕獲を防ぐため、その週に関してはアニマルセンサーの電源を入れないという措置を取っていたため、稼働日数が少なくなったものである。稼働期間中に、大型哺乳類がわなの内部に侵入して捕獲に至ることは無く、タヌキ等の中型哺乳類についてもわなの中に入ることは無かった。

わなの入口に向けて設置したカメラ（動画）と、わな周辺のセンサーカメラ3～5（静止画）で撮影された動物の確認種と個体数を表1に示す。なお、動画撮影のカメラはインターバル30分・一回の撮影で30秒間撮影されるように設定し、延べ245日間設置した。一方、静止画撮影のカメラはTREL10-Dで、インターバル30分・一回の撮影で3連写されるように設定し、地点3は延べ182日間、地点4・5は延べ214日間設置した。連写された場合は、一連の撮影で写った最大個体数をカウントして取りまとめたものである。錯誤捕獲の恐れがあるツキノワグマが合計11頭、カモシカが合計50頭撮影されたほか、外来種のハクビシンが合計60頭とわな周辺では最も多くの個体数が撮影された。ハクビシンは地点3・4において2頭連発で撮影されたこともあり、わな周辺で繁殖している可能性がある。

問い合わせ	東北森林管理局 藤里森林生態系保全センター 〒018-3201 秋田県山本郡藤里町藤琴字大関添24-3 TEL：0185-79-1003 IP：050-3160-5865 FAX：0185-79-1005
	《原本（データ）の帰属について》

注1) 「ID」「公開レベル」「保管形式」「保管場所」については記入しないこと。  
 注2) ドロップダウンリストから該当する項目を選択すること。  
 注3) 該当する項目の口をクリックし、チェックを入れる。

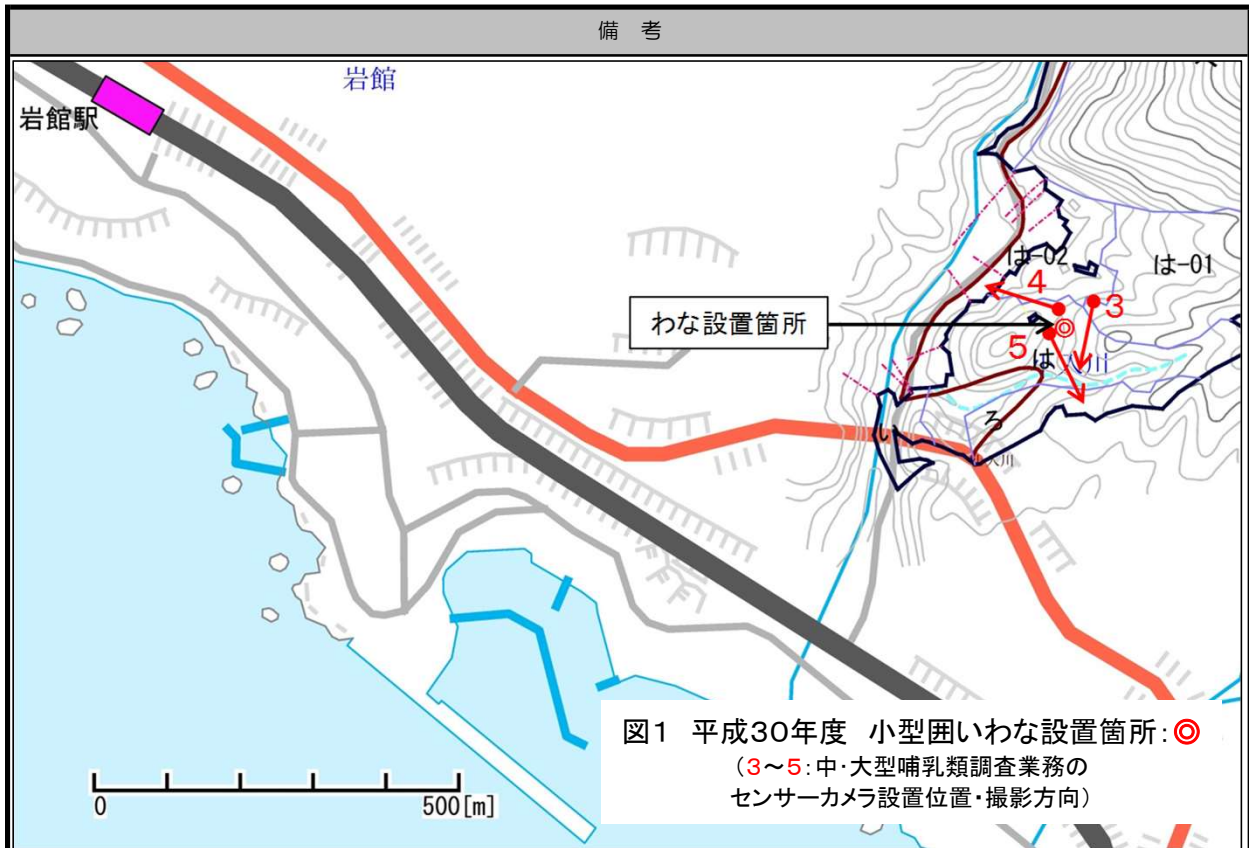


表1 わな・3~5で撮影された動物

種名	動画	静止画			合計
	わな	3	4	5	
キツネ	1	3	14	12	30
タヌキ	3	4	27	22	56
ツキノワグマ	1	1	7	2	11
テン		2	6	3	11
イタチ				2	2
アナグマ	1		5	1	7
ハクビシン	1	8	34	17	60
イエネコ			5	4	9
カモシカ	10	15	18	7	50
ニホンリス		6	1		7
ニホンノウサギ		7	7		14
不明ネズミ類				6	6
不明哺乳類		2	10	6	18
哺乳類個体数合計	17	48	134	82	281
哺乳類種数合計	6	8	10	9	11
キジバト	7	21	1	9	38
カケス		3			3
ハシボソガラス				3	3
キセキレイ	1				1
ホオジロ				1	1
不明鳥類	1				1
全個体数合計	26	72	135	95	328
全種数合計	8	10	11	12	16



写真1 小型囲いわな  
(秋期稼働時:ヘイキューブを2個使用)

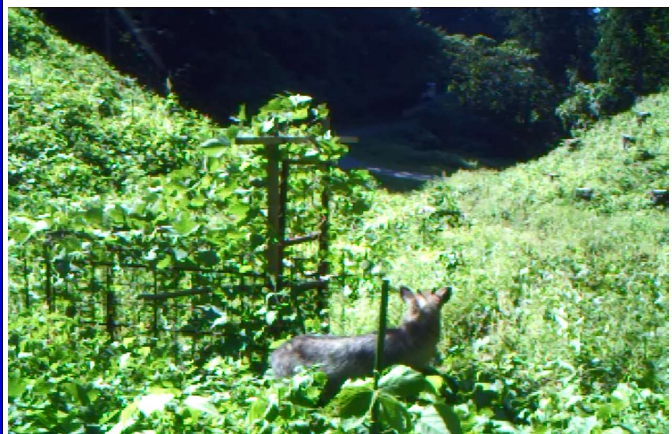


写真2 カモシカ (9月19日)